

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 7 3 号
件 名	今年度予定している新潟駅前東大通でのBRT連節バス専用レーン社会実験を中止して新潟市の1兆円の借金を減らすことを求めることについて
要 旨	<p>昨年9月5日に開業した新バスシステムBRT計画はトラブル続きの幕あけとなってしまい、政令市新潟として不名誉な結果となりました。</p> <p>その後快速運転の名のもとに一見うまく機能しているように見えてもいまだに多くの問題を抱えています。</p> <p>乗車人数調査では、新潟駅発連節バス全28便、全乗車人数422人、1便当たり15.07人しか乗っておらず、新バスシステムBRT計画は、連節バスをやめて普通バスの運行で十分に機能が果たせます。BRT専用レーンは不要となります。ことし予定している、新潟駅前東大通での島式ホームの社会実験は不要となります。</p> <p>視点を変えて、新潟市には1兆円もの借金があります。利息抜きで考えて、毎年100億円返したとして100年もかかる、返せる保障がないとも思われる莫大な借金です。</p> <p>よって、議会に以下を求める陳情をします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 現状の連節バスの使用をやめて普通バスだけの運行にすること。</p> <p>2 今後さらに連節バスを購入、導入することなく現状のまま新バスシステムを進め、新潟市の借金を減らす努力をすること。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	<p>第1項 } 平成28年6月20日 } 第4項 } 環境建設常任委員会</p>
受 理	平成28年6月14日 第126号

陳情第73号

	<p>3 普通バスの運行でことし予定されている新潟駅前東大通での専用レーン，島式ホームの社会実験をやめて約1兆円の新潟市の借金を少しでも減らし，税金の無駄遣いをやめること。</p> <p>4 BRTバス高速輸送システムの名称をやめて，ただの萬代橋ラインとすること。</p>
--	--